

会 長	署 長

令和元年度第4回美祢警察署協議会会議録

開催日時	令和2年2月25日（火）午後3時33分～午後5時02分
開催場所	美祢警察署3階 講堂
出席者	委 員 安藤浩太郎、多田杏子、田原 茂、山田悦子、高山正樹 計5人
	警 察 署 署長、次長、会計課長、刑事生活安全課長、地域課長 交通課長、警備課長、警務係長 計8人
議 題	1 所管事項説明 2 諮問事項 「効果的な犯罪抑止対策の推進」
<p>1 会長挨拶</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、人が集まる催しが次々と中止され、また、日本を含めて世界的に経済、産業に多大な影響が出ているなど、大変危惧する状況にある。</p> <p>協議会の中でもテロの話題が出て対応策を伺っているが、こうしたウイルス等の見えない脅威に対してどう対応するのか、難しさを実感しているところである。</p> <p>こうした状況の中での協議会の開催であるが、委員の皆さんの忌憚のない意見を願います。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 所管業務説明</p> <p>(1) 効果的な犯罪抑止対策の推進状況</p> <p>(2) 地域安全活動等の推進状況</p> <p>(3) 交通事故抑止対策の推進状況</p>	

(4) オウム真理教による一連の凶悪事件と最近の動向

4 所管業務説明に対する質疑等

(委員)

オウム真理教の関連施設は、県内にあるのか。

(警備課長)

県内での把握はない。一番近いところでは福岡県にある。

(委員)

巡回連絡の際に、うそ電話詐欺ストッパーの配布を行っているとのことだが、全て配布は終わったのか。また、機器を設置したことで犯罪の未然防止につながった事例があるのか。

(刑事生活安全課長)

現時点、独居高齢世帯(約1,400世帯)のうち約87%に配布しており、引き続き100%の配布を目指して取り組むこととしている。また、機器の設置による犯罪の未然防止事例について把握はしていないが、設置したことが注意喚起につながっており、未然防止に役立っているものと理解している。

(委員)

巡回連絡の実施件数が減少しているが、何か原因があるのか。

(地域課長)

共働きの世帯が多いことが要因として考えられ、休日に訪問するなどして対応していきたいと考えている。

(委員)

交番・駐在所連絡協議会について、警察OBを積極的に活用していけばよいのではないか。

5 諮問事項

「効果的な犯罪抑止対策の推進」について説明した。

(委員)

子供に対する声かけ・つきまとい事案が前年比で12件の増加となっており、大変心配している。防犯カメラの設置以外にも、何らかの対策を講じたり、活動を行ったりしているのか。

(刑事生活安全課長)

警察では、こうした事案が発生した場合、同じ時間帯に発生場所付近で警戒活動を行うほか、自主防犯ボランティアの方々にも積極的に見守り活動を行っていただいている。また、大嶺校区では新たに立ち上げたボランティア組織が活発に活動を進めている。防犯カメラについては、声かけ・つきまとい事案の発生状況を鑑みて、関係機関への働き掛けを行った結果、要所に設置していただいている。

声かけ・つきまとい事案の多発を受けて学校側も注意喚起を行っているため、厳密には声かけ事案に当たらないような事案であっても通報がなされることもあり、

認知件数の増加の一因となっている面もあるが、本年に入り、女子高校生が帰宅途中に腕をつかまれそうになった事案も発生していることから、引き続き警戒活動を強化していきたいと考えている。

(委員)

防犯カメラの設置や広報用マグネットの活用等による犯罪の抑止効果が出ているのかどうか、検証を行っているのか。

(刑事生活安全課長)

検挙は数字で表れる一方で、抑止効果は目に見えるものではないが、昨年の山口県全体の刑法犯認知件数は平成14年に比べて約5分の1に減少し、美祢署管内においても約半数まで減少しているところに抑止効果が表れているものと考えている。犯罪抑止に対する広報活動等、見えない活動の積み重ねが、安全・安心につながっているものと考えている。

(委員)

防犯CSRマイスター認定証については、認定された団体が5団体と聞いたが、認定されたことにより、今後どのような活動に生かされていくのか。

(刑事生活安全課長)

美祢市医師会等5団体が認定されており、認定された団体に対しては、警察が活動を後押しするなど、協力関係を構築していくこととしている。

(署長)

一過性で終わるのではなく、継続して活動してもらいたいという意味もあるので、今後も輪を広げていくことを考えている。

(委員)

ごみ袋にうそ電話詐欺被害防止の広報文を掲載しているが、もっと分かりやすく目立つようにした方が良いと思う。

(刑事生活安全課長)

警察としても、もっと目立つようにしたいと思っているので、デザインの変更等について入札のタイミングで市と協議していきたい。

(署長)

外袋への記載も含めて、デザインを検討していきたいと考えている。

(委員)

郵便局のながら見守り活動は、郵便局から申出があったものなのか。

(刑事生活安全課長)

警察から働き掛けを行ったもので、通常の警察活動だけでは目の行き届かない、地域の隅々まで行き渡る活動をしている郵便局の機動力を活用した事件事故等の通報を依頼している。

現時点では、事件事故の通報はないが、管内全域における安全・安心につながるものと期待している。

(委員)

こうした活動は、他の企業や団体等にも働き掛けをしていけば良いと思う。喜んで賛同させていただく。

(署長)

郵便局以外にも働き掛けを行っており、今後もさまざまな業種に輪を広げていきたいと考えている。

(委員)

警察が他業種、団体等と連携して行っているさまざまな取組や活動については、私たちが知らないものもあるので、美祢警察署から積極的な発信をお願いしたい。

(委員)

J A等各種団体の広報等も是非活用していただきたい。側面的な支援ができると思うので、しっかり利用してほしい。

(委員)

窃盗犯は、同じ家に何回も盗みに入ることがあるのか。

(刑事生活安全課長)

犯人によっては、その家の事情を知っている分、知らないところよりは犯行をしやすいこともある。

6 配付資料

- (1) 所管業務説明資料
- (2) 諮問事項

「効果的な犯罪抑止対策の推進」

7 次回開催予定

次回（令和2年度第1回）協議会は、改めて日程を調整し、開催日を案内する。